

令和3年度第1回沖縄県立青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

1 委員会の開催について

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令を受け、委員を招集せず書類審査によりモニタリング実施結果に対する意見等聴取を行った。

2 書類審査（委員）

那覇市教育委員会教育委員 本仲 範男
公立大学法人名桜大学教授 平野 貴也
一般財団法人沖縄県中小企業診断士協会会長 神谷 繁
一般社団法人ガールスカウト沖縄県連盟連盟長 津波 紀伊子
一般社団法人沖縄県PTA連合会安全委員会専務 下地 イツ子

3 審議概要

沖縄県立青少年の家6施設（名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣）の令和2年度実績モニタリング結果検証

4 検証内容

- (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

5 検証結果

コロナ禍の大変運営が厳しい中、各施設の管理運営は、適切に実施されている。

6 委員から主な意見、質疑等

意見、質疑等	回答等
すべての施設において利用状況が「C」評価なのはコロナ禍で仕方ないと思われる。人を集めるのが難しく、宿泊や人が触れ合うプログラムを実施することが難しい状況下においても、どの施設も工夫して運営がなされていると思われる。	
実施内容（現地確認）欄で修繕や備品購入等は数社からの見積もりを取って比較検討した上で発注しているのか。	原則として数社から見積書を取っている。ただし、一定の金額に満たない場合や特別の事情により2社以上から見積書を取ることができない場合は、1社としている。
各施設において財務面での考え方に開きがあり、アフターコロナに向けて取り組むべき修繕等がなかったか、振り返る必要があると思われる。	新型コロナウイルス感染症の影響は、しばらく続くと思定されるため、施設の収支の状況を踏まえ、アフターコロナのための修繕や備品購入等について、連携して取り組みたい。

(名護)

意見、質疑等	回答等
<p>新型コロナ感染防止の観点で受け入れの自粛が行われている中、これまでの出来なかった修繕等を行い、財務上では赤字になっているが、アフターコロナに向けての取り組みであり評価する。</p>	
<p>収支▲1,511千円と重点取組事項A評価が目立つが、原因を掘り下げて考える必要があるのではないか。</p>	<p>当施設の収支が大きくマイナスになった要因としては、</p> <ul style="list-style-type: none">・租税公課が見込みより多額になったこと・雇用調整助成金の2月分及び3月分の給付が4月以降になったこと（国の指示により新年度の収入となる） <p>などが考えられる。</p> <p>重点取組事項については、新型コロナウイルス感染症の影響（延期後の日程が学校行事と重複した等）で参加者が計画を下回る事業があったことから、A評価（概ね達成）となっている。</p>
<p>サービスの質の評価については悪い評価が前年度と比較して大幅に減少しており、高評価である。ただし、運営業務の講師の進め方については悪い意見が多く、講師との事前調整をさらに行う必要がある。</p>	<p>講師とアンケート結果を共有し、事業内容や進め方の改善に取り組んでいるが、事前調整の徹底及び連携強化を促していく。</p>
<p>役務費（その他）は予算より大幅に増えている。その詳細は何か</p>	<p>当施設では、主催・自主事業で食堂の利用を伴う場合、参加費と食事料金を一括で徴収し、施設の収入とした後、食堂業者に役務費（その他）として食事料金を支払っている。</p> <p>予算計上時には、事業の見直し等があり、食事料金を適正に見積もることが困難だったため、予算より大幅に増加している。</p>

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立名護青少年の家	対象年度	令和2年度
------	-------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		
(2) 保守・点検		
(3) 保安・警備		
(4) 小規模修繕		
(5) 備品購入		
(6) 防犯・防災対策		
(7) 料金徴収業務		
2. 運營業務	3
(1) 利用実績		
1) 利用者数等		
2) 施設稼働率		
3) 受付・接客		
4) 広報		
5) 情報管理		
6) 職員研修の実施		
3. 主催事業	4
4. 自主事業	5
II. サービスの質の評価		11
1. 受入事業		
2. 主催・自主事業		
3. 総合評価		
III. サービスの安定性評価(財務状況)		19
1. 事業収支		
(1) 収入		
(2) 支出		
2. 経営分析指標		
IV. 総合評価		21
1. 目標		
2. 評価結果		
【参考】		
附表 経営状況分析	22
料金徴収フロー図	23
労働条件等自主点検表	24

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立名護青少年の家	対象年度	令和2年度
指定管理者	一般財団法人 沖縄美ら島財団 指定期間:平成30年4月～令和5年3月	所管課	教育庁 生涯学習振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		全職員にて館内清掃・植栽の維持管理を行った。	業務日誌等書類確認	適正	適切に実施されている。日常の清掃に加え、新型コロナウイルス感染防止の為、施設内の消毒を行うなど適切に対応すること。
〈定期清掃〉	○		<ul style="list-style-type: none"> ・本館のワックス掛け(年1回) ・窓ガラス・サッシ拭き(月1回、毎月第1月曜日) ・敷地内の樹木剪定(随時実施) ・キャンプ場、運動広場の芝刈り(随時実施) ・貯水槽掃除(年1回・12/21) ・チリ回収(週2回) ・空調設備清掃(随時実施) 	契約書、報告書等書類確認	適正	適切に実施されている。今後も施設の利用状況等を考慮の上、計画的に実施すること。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設職員による点検	○		随時、基本的かつ簡易的な保守・点検を行った。	巡回記録簿等確認	適正	毎日巡視を行うなど適切に実施されている。今後とも継続すること。
電気設備点検		○	月次点検(2カ月に1回) 5/25.7/10.9/12.11/5.1/26 3/23 計6回 年次点検(年1回)5/25	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
消防設備保守点検		○	年2回実施 機器点検 9/15 総合点検 12/22 防火対象物定期点検 9/15	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
簡易水道設備点検		○	設備点検月1回実施 簡易水道水質検査年1回 9/16	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
浄化槽設備点検	—	—	浄化槽設置なし(下水道)			—
ボイラー設備保守点検		○	月1回実施	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。
昇降機設備保守点検		○	定期点検 年4回 6/16.9/24.12/8.1/28 巡視 年1回12/8 遠隔操作点検 年12回	契約書、報告書等確認	適正	適切に実施、処理されている。今後とも継続し、指摘事項等があれば、所管課と調整の上、適切に対処すること。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備		○	毎日 17:00～8:30 常駐1名 保安警備実施 年末年始、職員研修、台風閉 所時 8:30～17:30	契約書、報告書等 確認	適正	有人警備により、安全・安心に万全 を期している。登山路等、施設への 侵入経路が複数存在するため、今 後とも注意を怠らないこと。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修 繕を実施。		○	計18件(1,974千円) 消防設備不備箇所修繕、エ ントランスキャノピー軒天修繕 等	完了届、請求書等 確認	適正	適切に実施されている。築20年以上 が経過し、修繕箇所が増えている が、所管課と連携を図りながら、計 画的な修繕や予防修繕に努めること。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 0千円		○	計1件(352千円) テラステーション購入	納品書、請求書等 確認	適正	適切に取り組んでいる。今後も所管 課と連携を図りながら、計画的に予 算を計上の上、備品購入に努めるこ と。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
消防訓練		○	年3回実施 通報訓練、消火訓練、避難訓 練 7/6実施(6/1消防へ届出) 12/7実施(12/1消防へ届出) 3/1(2/22消防へ届出)	届出等確認	適正	実施回数を増やし、緊急時に備える など、適切に実施されている。 今後とも体制整備、訓練を実施し、 緊急事態発生時に迅速な対応がで きるよう努めること。
避難訓練		○	年3回実施 通報訓練、消火訓練、避難訓 練 7/6実施(6/1消防へ届出) 12/7実施(12/1消防へ届出) 3/1(2/22消防へ届出)	届出等確認	適正	実施回数を増やし、緊急時に備える など、適切に実施されている。 今後とも体制整備、訓練を実施し、 緊急事態発生時に迅速な対応がで きるよう努めること。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料徴収		○	R2年度徴収実績849,060円 料金徴収フロー図に基づき徴 収	領収書等確認	適正	適切に実施されている。今後とも各 種法規や所内ルールに基づき、適 切に処理すること。小口現金の管理 を適切に行うこと。必要に応じてル ール確認研修等を適宜実施すること。
実費負担等徴収		○	R2年度徴収実績1,322,182円 料金徴収フロー図に基づき徴 収(薪代、シーツ、ランドリー、 工作、売店、クリーニング)	領収書等確認	適正	適切に実施されている。今後とも各 種法規や所内ルールに基づき、適 切に処理すること。小口現金の管理 を適切に行うこと。必要に応じてル ール確認研修等を適宜実施すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	(1)～(7)すべての項目で概ね適切な維持管理が行われている。今後も、適正な施設の維持管理に努め、建物の長寿命化に向けた予防保全的な修繕等も計画的に行うこと。また、委託業務の仕様等の見直しに取り組み、業務の質の向上及び費用の縮減に努めること。
--------------------	---

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	令和元年度実績	事業計画 (目標値)	令和2年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
利用者実数	20,174	19,550	12,414	62%	63%	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、県からの要請を踏まえた利用者受入停止及び事業の中止(4/7～5/20、8/1～9/5)、宿泊定員の変更(240人→120人)、利用キャンセル等により利用者数が減少しており、特に宿泊室及び研修室の利用が大きく減少している。 今後も、感染症対策を踏まえながら、可能な範囲で、施設の利用に取り組んでいきたい。	
利用者延べ数	30,989	34,595	14,560	47%	42%		
(利用者内訳)	学校教育	12,713	12,713	5,138	40%		40%
	社会教育	1,594	1,594	638	40%		40%
	その他	16,682	20,288	8,784	53%		43%
利用者延べ数	30,989	34,595	14,560	47%	42%		
(施設内訳)	宿泊室	7,671	8,000	1,821	24%		23%
	研修室	4,447	5,200	1,382	31%		27%
	体育館(プレイホール)	10,900	11,000	7,983	73%		73%
	キャンプ場	388	400	173	45%		43%
	その他	7,583	9,995	3,201	42%		32%
(利用団体数)	1,553	1,420	1,210	78%	85%		

評価(①利用状況)	C
-----------	---

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S: 110%以上
 A: 100%以上、110%未満
 B: 80%以上、100%未満
 C: 80%未満

2) 施設稼働率

	令和元年度実績	事業計画 (目標値)	令和2年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
開所日数	353	311	298	84%	96%	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、県からの要請を踏まえた利用者受入れ停止等があったものの、利用者の要望を受けて休所日も利用者を受け入れるなど臨機応変に対応したため、開所日数及び利用日数は計画比96%となっている。
利用日数	348	311	298	86%	96%	
利用率	99%	100%	100%	101%	100%	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)	-
-----------	---

【評価基準(①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S: 110%以上
 A: 100%以上、110%未満
 B: 80%以上、100%未満
 C: 80%未満

3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(例) 全職員が対応可能な体制の構築	○		業務連絡帳並びに朝礼及び月会議での情報共有	関係書類等確認	適正	適切に取り組んでいる。職員研修等も計画的に実施し、職員の能力向上に努めること。

4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(例) HP、新聞、館内 掲示や配布物に よる事業等のア ピールを実施	○		ホームページの更 新・随時(空き室状 況含む) 新聞への掲載(主 催3回、自主14回実 施) かわら版への主催・ 自主事業を掲載、 配布	関係書類等確認	適正	適切に取り組んでいる。所内でも定期的に会議を行い、今後も引き続き利用者目線を意識した対応に努めること。

5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(例) 個人情報等の適 切な管理を実施 する	○		個人情報管理担当 職員の決定 月例職員会議で所 内周知 個人情報書類の管 理・適正廃棄 シュレッターの使用 徹底	関係書類等確認	適正	適切に実施されている。今後とも所内ルールの徹底や研修の実施等により全職員の意識の持続・向上に努めること。

6) 職員研修の実施

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
予算132,000円 青少年教育施設 職員研修会 主催・自主事業に 係る職員のスキル アップ研修の実 施	○		4/7青少年教育施 設職員研修会(中 止) 11/30職員スキル アップ研修(中止)	-	-	新型コロナウイルス感染症対策のため、参加を予定していた研修が中止となっている。所内の研修も適宜企画すること。

3. 主催事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
ノルディックウォー キング 講座(名護岳ハイ キングコース)	○		10月4日	中学生以上	20	20	100%	本事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため時期を延期して行った。広報はホームページ、かわら版、周辺広場掲示版への掲示、無料新聞への投稿、前回申込みがあった方への電話連絡などを行った。当日は、新型コロナ感染予防ガイドラインを基に、来所前の体温測定と参加者の健康状態の確認を行い、開講式等においてはマスク着用と手指消毒を必須とし、ウォーキング中も身体的距離の確保に留意し実施した。今回は日本ノルディックウォーキングベシックインストラクターを講師に招き初心者コース(11名)・経験者コース(9名)に分け実施した。座学(初心者コース)ではボールを使って歩くことで下肢に負担がかからず、膝の痛みや、肩こりが改善され姿勢が良くなることやリハビリ・体づくりになること等、その効果について分かりやすく解説し年配者に最適であることなどを紹介した。コースにおいては両コース新たにがんじゅー広場を新設した。本事業に、沖縄県ノルディック協会の方々も参加している事から、次年度は同協会のホームページ等にも開催情報等について掲載をお願いし、参加者増加に繋げたい。
防災キャンプ	○		11月7日～8日	少年消防クラブ (募集なし)	30	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

慰霊の日奉仕活動	○		6月14日	一般	設定なし	12	—	今年度は北部農林高等学校と名護高等学校から教諭・生徒が参加した。事業開催にあたり所長から「和球の碑」(にぎたまのいしぶみ)の設置に関し沖縄戦においてこの地で戦没した部隊名や戦没者数、沖縄県民以外の4県の方々が吊られている事や、これまではご遺族や関係者によって追悼行事を行っていた事などを紹介した。加えて、戦後75年が経過し戦争体験者や語りべが減少して行く中で、沖縄戦の歴史を風化させない事、語り継いでいく事、命がなにより大切である事を生徒に伝え、清掃後に世界の恒久平和を願い、戦没者を偲び平和の祈りを捧げ終了した。概ね恒久平和の祈念と奉仕の精神を養うという本事業の目的を果たすことができた。また、両校生徒同士や職員等とお互いに交流を深めることができた。今後は県内ボランティア団体等への協力も依頼するなど事前告知を幅広く行い、和球の碑周辺への案内看板の設置や呼びかけ方法を工夫が必要であると感じた。	
親のまなびあいプログラム	○		1月24日	保育園児、幼稚園児の親子		30	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
なんぐすく桜見ウォーク	○		1月31日	小学生以上		50	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
ナゴランを育てよう	○		3月14日	小学生以上		15	16	107%	今年度も沖縄県立北部農林高校園芸工学科生物工学コースの金城聖教諭と同コース2年の生徒を講師として招聘し実施した。座学ではナゴランの希少性や分類や形態、開花時期や栽培方法、病虫害について講義を行った。その後、名護青少年の家の敷地内に植栽されているリュウキュウコクタン等への着生実技を行った。今回、初めての参加者が多く、花芽を初めて観察したことやこれまで先輩たちが着生させたナゴランが元気に育っている様子にとっても感動されていた。本事業を通し、ナゴランを取り巻く環境や歴史を知ること参加者の緑への関心がより深まり、自然保護や生物の多様性、環境の保全等について考える機会を与えることが出来た。また、北部農林高校が準備した資料や発表スライド、実技講習がとてわかりやすく好評であり、北部農林高校の活動を知ってもらい良い機会となった。同校の過去20年以上に及ぶ同事業への協力と、継続的な実施により種の保存の一助となっている事からも、今後も地域連携を図りながら、人材育成を含め郷土の自然保護や環境学習の一環として本事業を実施していきたい。
計(中止事業は除く。)						35	48	137%	実施3事業、中止3事業

4. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検証 (計画達成率)	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者						
GW特別企画 アクティビティ王 決定戦	○		4月29日～5月6日	一般	設定なし	0	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
親子ふれあい キャンプ① 「スプリングキャン プ」	○		5月16日 ～17日	親子(3歳以上)	30	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
ホタル観察会 I	○		5月30日	親子(3歳以上)	30	30	100%	外部講師による座学、野外観察を実施した。講義では、ホタルの命名の由来や種類や分布、成虫と幼虫の食性の違いやホタルを取り巻く環境等について紹介した。フィールド観察では、クロイワボタルの出現が多く、オキナフスジボタルはやや少なかったが、昨年に比べ出現個体数も多く、場所によっては本事業の醍醐味であるホタルの群舞を観察することが出来た。本事業を通して環境問題等についても考える機会をつくることができ、参加することの付加価値を感じていただけた。毎年、参加希望者が多い事から今年度は開催日を2日間確保し実施した。また、講事前レクチャーの配布資料として、子ども向けのワークシートを導入し、解説の補助や事後学習ができるよう解りやすい資料となるよう工夫し好評を得た。ホタル観察ポイント等における危険生物(タイワンハブやムカデ等)の出現の可能性について事前に参加者に伝える事と、実施中は職員が先回りして周辺の安全を確認した後に参加者を案内するなど、咬傷被害等が出ないよう安全対策を徹底し行った。

ホタル観察会 II	○		6月1日	親子(3歳以上)	30	36	120%	外部講師による座学、野外観察を実施した。講義では、ホタル観察会 I と同様に、ホタルの和名の由来や種類や分布、成虫と幼虫の食性の違いやホタルを取り巻く環境等について紹介した。野外観察では、雨天の為、観察会 I に比べるとホタルの出現数は少ない傾向にあったが、クロイワボタルとオキナフスジボタル2種類のホタルが確認できた。また、一部の参加者はホタルの成虫又は幼虫を捕まえることができ、捕まえたホタルを施設に持ち帰り虫眼鏡等で、細かい部分までホタルの観察を行うことができた。本事業を通し、普段の生活の中では見る機会が少なくなったホタルを自然環境下で観察し、やんばるの森に生息する他の生物等へも興味を持っていただくと同時に、環境保全等への気づきや学びの機会を提供することができ、参加することの付加価値を感じていただけた。ホタル観察会 I 同様の安全対策に加え、雨の中での野外観察となった為、移動の際は足元が滑りやすくなっていることを伝え、等間隔で職員を配置し参加者の足元をライトで照らす等の転倒防止対策を講じた。
美ら島自然の学び舎 ウミガメ編(普及開発課連携)	○		6月20日 ～21日	小学4年 ～中学3年	15	10	67%	財団講師1名、外部講師1名を招聘し基礎講座ならびに野外観察等を実施した。初日は「ウミガメの特徴や保護・研究」についての講義を受け、沖縄で産卵している3種類のウミガメは国際自然保護連合のレッドデータブックで絶滅危惧種に指定されている事、各地で保全活動が行われている事などを学んだ。座学終了後に国頭村奥集落の砂浜へ移動し、長年国頭地区の産卵調査をしている日本ウミガメ協議会会員で自然公園指導員を講師に加え、砂浜観察を行った。親ガメになったつもりで、産卵しそうな場所を想像したり、足跡を頼りに場所を特定し、実際の調査風景を再現し24時間以内に産卵した産卵巣の掘り起こしなどを行った。参加者は交代で卵を実際に手に取り、形や大きさ重さなど間近で観察した。今回は残念ながらウミガメの上陸がなかった為、ボディビットを利用し産卵体験を行った。2日目は、ウミガメ飼育やウミガメを取り巻く環境について学び、美ら島自然学校で飼育しているアカウミガメ・アオウミガメ・タイマイの仔ガメとふれあい、間近で観察した。まとめ学習では、グループに分かれウミガメ新聞を作成し保護者の前で学習発表を行った。今回も財団独自のネットワークを活かし名護青少年の家の特色あるプログラムを通して、環境保全や希少野生生物保護等への意識の高揚を図ることができた。
部分日食鑑賞会	○		6月21日	親子(3歳以上)	30	28	93%	外部講師として、日本宇宙少年団名護分団チーフリーダーに講義・観察を依頼した。また、当日は日本宇宙少年団の43の分団とリモートで繋ぎ、全国各地の観測状況をリアルタイムで共有した。講義では日食と月食の違い、昨年観察された沖縄での部分日食や2020年の主な天体現象等について紹介した。昨年の観測から約半年ぶりの部分日食であるため参加者も観察を楽しみにしている様子が伺え、当日の天気は曇りのち雨の予報で、一連の観察を行うには厳しい気象条件であったが、何とか雲の切れ間から部分日食を観察することができた。また、雨天時の対策として施設内にモバイルプラネタリウム(移動式)を設置し、当日は二十四節気の一つ「夏至の日」でもある事から、夏の星空に関する解説を交えたプラネタリウム鑑賞会を屋外観察と並行しておこなった。本事業の中で本館屋上の大型天体望遠鏡についても紹介する事ができ、多くの方に天体に興味を持って頂けたと同時に名護青少年の家施設をPRする事ができた。講義の中で、部分日食観察の方法や観測機器を用いた際の注意点などを重点的に行ったが、天体望遠鏡使用の際、使い方を誤ってしまう場面が見られた。健康被害を防止するためにも、観察直前に再度、天体望遠鏡使用の留意点等を丁寧に説明する必要があると感じた。その他、日食の種類や部分日食が起こる仕組みについての細かい説明(模型等を使うなど)が必要だと感じた。次回、講師の方と講義の内容や進め方など、入念な打ち合わせが必要である。

海洋博公園連携特別講座「初夏の星空講演会+観察会」	○		9月19日 ～20日	親子(3歳以上)	30	15	50%	本事業も新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿い、当日は参加者の健康状態の確認を行い、来所前及び帰所時の体温測定と参加中のマスク着用を必須とし、3密回避等に留意し実施した。日本宇宙少年団名護分団チーフリーダーによる講義では暦の見方や過去に起きた様々な天文現象について紹介し、星空案内人による講義では小さいお子様でも楽しめる絵本の読み聞かせを行いながら、月の満ち欠けやその仕組みについて解説した。星空観察時は曇天により星座観察に苦労したが、天体望遠鏡で木星、火星、土星、アルビレオを観察することができた。初めて天体望遠鏡を覗いたという方が多く、「きれい!」「すごい」など感動の声が多く、講義内容を含め概ね満足いただけただけの様子であった。天体観測時は、望遠鏡既存のアイピースカップと併せ使い捨て簡易アイピースカップを1人1個配布し、2重にすることで観察をスムーズ且つ衛生的に行えるようにした。また、天体観測中は全館消灯する為、暗闇の中、段差等で躓かないよう、要所要所に職員を配置するなどして安全確保に努めた。
親子ふれあいキャンプ②「カヌーキャンプ」	○		7月11日 ～12日	親子(3歳以上)	30	36	120%	午前中は東村慶佐次のふれあいヒルギ公園で、マングローブ観察&カヌー体験をやる自然塾の指導のもと実施した。マングローブや植物の特徴、希少なマングローブの保全等について学んだ。カヌー体験では親子で息を合わせ楽しく漕ぎ合う様子が印象的であった。午後は名護青少年の家に活動の場を移し、テント設営(撤収)、オリジナル石けんづくり(工作体験)、BBQ(野外炊飯を行い、家族単位で活動を楽しんだ)。パタフライウォッチでは講師を招き、沖縄県内で見られる蝶の種類や生態、形態についてレクチャーを受け、名護青少年の施設周辺において実際に蝶を採集し種類の同定等に挑戦した。ほとんどの家族が採集することができ、間近で観察し講師へ多くの質問が寄せられていた。本プログラムは蝶の観察を通して自然の豊かさを知る事を目的に活用されている事が紹介され、やるばるの森の豊かさや、環境保全についての気づきを与える良い機会となった。また、県内で新たに新型コロナ感染者が確認された事により、実施の有無について問い合わせがあった。当日も参加の意思を確認し、部分的な参加(カヌー体験のみの参加等)を可能にするなどを検討した。全てのキャンセルについても、費用負担のみの印象とならないよう丁寧な説明と柔軟な対応を心掛け、準備した。コロナ対策としてテント本体やキャンプ用具等の消毒作業を実体験することができた。また、食事の座席の指定や手指消毒の頻度、アルコールの設置場所など、野外活動におけるコロナ対策等について再確認できた。
火星準大接近	○		10月10日	一般	30	29	97%	講師を招聘し、講義前半は火星や火星準大接近が起こる仕組みなどについて、クイズを通して楽しく学んだ。後半は、名護青少年の家屋上で天体望遠鏡を利用し実際に火星を観察した。秋の星空には明るい星が少ない為、火星の輝きは特に印象的で、火星が大きく見える間に表面の模様を観察が楽しめ、接近中の姿をじっくり眺める事ができた。今回、望遠鏡を5台設置し、火星だけではなく太陽の周りを公転する木星や土星、その他アルビレオも観察した。限られた時間ではあったが、今回の事業の趣旨である天体に親しむ機会を概ね提供する事ができた。新型コロナ感染予防ガイドラインを基に当日は参加者の健康状態の確認を行い来所前の体温測定、マスク着用を必須とし、天体望遠鏡を覗く際に使用するアイピースとして、底を抜いた紙コップを参加者一人につき1個配布し、観察の際に天体望遠鏡に直接触れないよう指導した。

親子ふれあいキャンプ③ 「オータムキャンプ」	○		10月17日 ～18日	親子(3歳以上)	30	27	90%	今回は秋をテーマにスポーツ大会や秋に見られる野鳥の観察、野外炊飯においては秋の食材を使った料理など、季節ならではのプログラムを考案し実施した。スポーツレク大会ではグランドゴルフやストラックアウトなどのアクティビティを5種用意し、家族対抗制で行った。野外炊飯では昔やサツマイモなど秋の食材を使った炊き込みご飯をダッチオーブンで調理する方法を考案し、調理バリエーションを増やすことで野外炊飯メニューへの応用も可能となる内容であった。参加者も初めての調理方法に興味津々で炊き上がるまでの時間も楽しんでいる様子であった。夜間の星空観察では講師に引き、天体に関する講義を行った。野鳥・生き物観察では沖縄野鳥研究会から講師を招き、講師の研究資料を基に名護青少年の家独自の野鳥観察ワークシートを作成し、名護岳周辺に生息する生き物や植物等について解説を交えた観察を行った。資料も分かりやすく、内容も良かったと大変好評であった。
ピザ作り体験	○		10月25日	一般	30	17	57%	前年に引き続き、ピザ釜作りから体験できる日帰り事業として無理のない内容を企画し、親子だけでなく一般の方も参加できるように募集対象を広く参加者・応募増に繋げた。レシピは各家族単位で用意し、作業行程表を貼り出すなど予め時間配分等の説明を行ったことでスムーズに実施できた。また、新型コロナ感染注意報(第4報)を受け、ご家族同士の接触機会を極力避けるため、調理具の事前準備等を当所職員が行ったことや、ピザ釜を家族単位で設置し、改良を重ねる事で焼き時間を大幅に短縮することができ、焼きたてのピザをその場で試食してもらうこともできて大変喜ばれ、とても満足して頂いた様子であった。最後にご家庭でも再現できるように、各家族にピザのレシピを配布し終了した。当日は外気温の上昇並びに豆炭および薪を使用している調理である事から、火元からの距離の確保や水分補給を行い、ピザ釜使用時には身体的距離を十分に確保した上でマスクの着脱を促す等、熱中症対策を万全に行った。県独自の非常事態宣言が延長されたこと等により10月25日に延期実施した。新型コロナの影響やそれに関連する上期の学校行事等の日程変更等が重なった事によりキャンセルが相次ぐ結果となった。野外炊飯時の食事の座席の指定や手指消毒の頻度、アルコールの設置場所など、日帰り野外活動におけるコロナ対策等について再確認する事ができた。
遊びリンピックin 沖縄	○		10月26日	一般	設定なし	0	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
体験活動推進員養成講座+ やんばる自然教室	○		11月1日	一般	30	26	87%	今年度は名護岳の地形及び歴史専門家、植物専門家、昆虫専門家等、各分野において豊富な知識を有する専門家を招聘し、名護青少年の家と国立青少年交流の家とのタイアップ事業を実施した。講話Ⅰでは子供のころの体験活動が人生に与える影響について、体験活動に関する調査研究や体験活動の重要性(推進・充実)、講話Ⅱでは体験活動推進の取り組みとして体験の風をおこそう運動や子ども体験遊びリンピック等について国立沖縄青少年交流の家職員が行った。講話Ⅲでは名護岳の自然環境と野外活動指導のポイントとして「目標の明確化(何を気づかせたいのか等)」、「活動内容の吟味(目標達成の為に効果的な内容の検討等)」、「安全の確保(天候やトイレ等)」について外部講師が行った。実習では、山頂コース(地形と歴史)と沢コース(植物と昆虫)に分かれ、名護岳周辺の動植物の解説を交えた自然観察を実施した。受講した参加者には国立青少年教育振興機構より体験活動推進員委嘱状と腕章を交付し事業を終了した。当日は午後から気温が上昇した為、名護岳登山・沢歩きにおいてはこまめな水分補給と身体的距離を十分に確保した上でマスクの着脱を促す等、熱中症対策等を万全に行った。定員割れが起きないよう、キャンセル待ちを含めて定員以上の受付を行ったが、新型コロナの影響や、家族又は職場同僚に発熱者が発生した事等によりキャンセルが相次いだ。

やんばるの生態を学ぼう～樹木を見分けてみよう～	○		11月21日	一般	20	14	70%	沖縄美ら島財団総合研究センター植物研究室連携事業として、同センターの研究員を講師として招聘し「樹木を見分けて教えてみよう」と題して、座学、ワークショップ、野外観察の3部構成で実施した。座学では名護城周辺の植物種について、ワークショップでは事前採取した枝葉の特徴や、スケッチの際の注意点と使う道具等について講義して頂いた。また、図鑑で調べる際の注意点等については、実際の図鑑の葉の検索一覧表を用いており、とても分かり易い説明で、参加者は熱心に聞き入っていた。最後に、名護青少年の家周辺の広場にて、沖縄固有の植物等についての解説を交えながら野外観察を行った。自然の中を散歩する感覚で、実際にスケッチした樹木探しを行い、参加者もリラックスしながら散策することで、座学では聞けなかった疑問や質問が多く聞かれ、緑とふれあう中で楽しみながら学んでいる様子が印象的であった。また、やんばるの自然の豊かさや保全について考える良い機会になったと言う会話も聞かれ、大変有意義な時間と場を提供できた。
日米国際交流キャンプ	○		11月23日～24日	親子 (小学5～6年生)	80	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
秋の星空観察会	○		11月28日～29日	一般	30	30	100%	講師に日本宇宙少年団名護分団チーフリーダーを迎え、講義では暦の見方や近年起きた様々な天文現象に関する話の他、星座が作られた経緯などについて、ギリシャ神話を基に紹介した。星空観察時は曇天であったが、雲の切れ間からわずかに観察できた木星・土星・火星について、レーザーポインターを用いてレクチャーして頂いた。観察時に、惑星の接近について質問があり、対象となる木星の公転軌道は約12年、土星の公転軌道は約30年かけて1周する事や、来月に江戸時代の1623年以来、397年ぶりに土星、木星等の惑星が超接近する事など、天文業界の専門家たちも経験したことのない、大変珍しい現象について紹介し、その時は小型の望遠鏡でご家庭でも楽しめる事などを紹介した。講義後半は、天体望遠鏡を用いての天体観測が行えない状況であった為、代替プログラムとして移動式モバイルプラネタリウムの鑑賞会を実施し、沖縄島で観察できる季節ごとの星座について解説して頂いた。「勉強になった」「貴重な経験をすることができた」等の声が聞かれ、急な内容変更であったが、とても好評で、満足していただけた様子であった。
親子ふれあいキャンプ④「クリスマスキャンプ」	○		12月12日～13日	親子(3歳以上)	30	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
第8回名護青少年の家まつり	○		1月30日	一般	設定なし	0	—	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
冬の星空観察会	○		2月13日～14日	一般 (小学生以上)	30	65	217%	今年度は名護青少年の家と共に事業を運営しているYAC名護分団が創立30周年の節目を迎えると言う事もあり、その記念事業とタイアップし実施した。それに伴い、YAC名護分団との関わりのある元JAXA宇宙飛行士・運用管制ユニット長、プラネタリウム解説員を講師に招聘した。元JAXA宇宙飛行士・運用管制ユニット長による講義では日本で初めて宇宙飛行士の訓練を担当した時の話や、宇宙飛行士の生活、宇宙飛行士になるために必要な資質について貴重な研究データや映像等をスクリーン投影により紹介し、また、空間把握能力を養うための方法などクイズを交え講義して頂いた。プラネタリウム解説員による水ロケット工作体験では、ロケットの仕組みや原理について講義したあと、YAC名護分団団員の補助のもと、水ロケットを参加者自ら作成した。実射体験は空気圧を利用した実験を行った。今回は定点競技として、目標着地点に一番近い方に景品をプレゼントする等、ゲーム形式を取り入れる事で楽しく実験することができた。星空観察及び惑星観察は、雨天により実施が厳しい状況であった為、プラネタリウム鑑賞会を実施し、太陽系の位置関係や1億年後の地球の姿などを解説して頂いた。 新型コロナ感染予防ガイドラインに沿って、体温測定、こまめな手洗いや手指消毒、マスク着用を必須とした。また、室内等の換気においては、前日からの外気温低下により室内も冷え込んでいた為、窓の開閉箇所および幅を最小限にして常時換気を行った。また、県内北部在住者に限り、日帰りでの参加を推奨し、県外在住者については、事前の抗体検査の受診を依頼した。今後もYACとの協力関係を深め、JAXA等の宇宙に関する専門機関との関係を構築し、連携した事業を展開していきたい。

キッズアドベンチャー	○		3月27日 ～29日	小学4年～中学3年	20	20	100%	<p>本事業も新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿って実施し、実施期間中は保護者なしでの宿泊(2泊3日)となるため、参加児童・生徒の健康状態の把握を目的に、健康状態調査票を事前に送付し持病の有無や2週間前から毎日の体温を記入し提出してもらった。事業中はこまめな手指消毒及び毎日の検温の協力とマスク着用を必須とし、テント泊では十分なスペースがとれる人数に分かれ、3密回避等に留意した。1日目は同班メンバーの交流と施設を把握することを目的に、フィールドビンゴを実施した。子供たちは施設内を隅々まで歩いて探検中で自然と会話が始まり、ビンゴ達成のために協力する様子が見られ、ゲームを通して直ぐにうち解けることが出来た。</p> <p>2日目は沖縄美ら島財団普及開発課職員講師に招き、キッズアドベンチャー初の山と海の繋がりをテーマにした環境保全に関する講義とビーチクリーン(名護市済井出のビーチに漂着したゴミの清掃活動)を行った。ビーチクリーンでは約2時間で名護市のボランティア用ゴミ袋30袋分のゴミを回収(分別)した。帰所後、ゴミ問題が海洋生物にもたらす影響等について講義した。翌日、ビーチで拾ったマイクロプラスチック等を利用した工作体験(キーホルダー作り)を行った。工作体験中「プラスチック製品の再利用」や「きちんとゴミを処分しなければいけない」等の会話が聞かれ、海のプラスチックゴミへの気づきや意識づけができ、自然環境の大切さを学ぶとても有意義な時間と場を提供することができた。ビーチクリーンを通して環境保全の一役を担った達成感と継続的な環境問題への取り組みを再確認した。</p> <p>3日目も当初のプログラムとなる早朝登山を行った。雲の切れ間から朝日が出た瞬間に歓声があがり、名護城頂上からの景色を楽しんだ。登山中、お互いに声を掛け励まし合い、相手を気遣う等、目標としていた全員での登頂を成し遂げ精神的にも体力的にも成長した姿が見られた。</p>
90キロを踏破しよう	○		—	—	20	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
将来の夢は何?	○		—	小学4年～中学3年	20	0	0%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
計(中止事業は除く。)					385	383	99%	実施14事業、中止8事業

<p>2. 運営業務 3. 主催事業 4. 自主事業 取組改善案</p>	<p>2 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつながる取り組みの検討が必要である。</p> <p>3、4 今後も、近隣校等との連携、外部講師の招聘など、青少年の家の持ち味を活かしつつ、既存事業の工夫・改善や新規事業の開発に取り組んでいただきたい。</p>
--	--

II. サービスの質の評価

1. 受入事業

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和元年度評価	令和2年度目標	令和2年度評価		
維持管理業務	<p>〈満足度〉91% (※1) とても良い 49%(37票) 良い 42%(32票) 普通 5%(4票) 悪い 4%(3票) ※利用なし3票 無回答1票</p> <p>(良い意見) ・視聴覚機械、空調等に対応して いただいて、スムーズに研修を 実施できた。 ・3F研修室、テーブル、イス、ホ ワイトボード、照度等良いと思 います。 ・キャンプ場(キャンプファイヤ ー)や体育館など充実した環境 であった。 ・天体観測で木星や土星が見 れ、普段中々体験できない経 験ができ、子ども達も大満足 でした。 ・野外炊飯の用具等清潔に管 理されていた。 ・テント、寝袋、炊飯棟他きれ いに整理整頓、手入れされて いた。 ・研修室の大きさ、用具全て 良かった。ウォークラリーの コースも良かった。 ・PP竹トンボ作りをしたので すが、用具も豊富で、部屋も キレイにされていて、すこし やすかったです。</p> <p>(悪い意見) ・講堂のイス・テーブルの破 損が多かった。 ・全体的に古くなり、故障も あった。講堂内の古いマット レスが邪魔。 ・夜、研修室のエアコンが熱 風?温風?で全然涼しくなく 集中できなかったとのこと。 使用料を上げてもいいから、 エアコンをしっかりと効か せてほしいです。熱中症にな ります。 ・体育館に大型扇風機が必要 。（天候では窓の開放もまま ならなかったため、非常に暑 かったです。） ・網戸が壊れた箇所もあった 。戸が開きにくかった。 ・体育館の照明が切れている ので、対応をお願いします。</p>	<p>〈満足度〉90%(※1)</p>	<p>〈満足度〉91.7%(※1) ・とても良い 61.1%(22 票) ・良い 30.6%(11 票) ・普通 5.6%(2票) ・悪い 2.8%(1票)</p> <p>S</p> <p>(良い意見) ・全て整えられていて利用し やすかったです。 ・体育館がきれいで良かった。 ・調理器具や体育館用具など 道具が揃って満足でした。</p> <p>(悪い意見) ・掃除用具使いづらい物があ りました(掃除機など) ・旧炊飯棟の排気がうまく出 来ないようにしたので、良 い方が良い。(ぜんそく持ち の子がきになった)</p>	<p>・全体の約92%の利用者が 良い以上の評価をしており 概ね満足していたとされる。 ・利用者の活動目的達成 のため徹底したサポートを 行った。 ・清掃活動が低下する事 が無いよう清掃等で使用 する用具を随時チェックし、 修繕並びに購入し補充を行 った。 ・気象条件等によっては煙 が場内に滞留する事がある 為、団体のグループの分散 や利用日の分散等の対策、 炊飯中においては炊飯場外 において新鮮な空気を吸う など、煙で健康被害が出な いよう指導した。今後も利 用者が安心・安全に施設を 利用して頂けるよう細かい 打合せと丁寧な説明を心 掛け、安全の確保に努 める。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・今後も、利用者の意見を 参考に、点検や説明を丁寧 に行うとともに、施設の 維持・管理に努めること。</p>

評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和元年度評価	令和2年度目標	令和2年度評価			
維持管理業務 宿泊で利用する施設・設備・用具について	<p>〈満足度〉85% (※1) とても良い 38%(30票) 良い 47%(37票) 普通 10%(8票) 悪い 5%(4票) ※利用なし1票</p>	<p>〈満足度〉90%(※1)</p>	<p>〈満足度〉86.1%(※1) ・とても良い52.8%(19票) ・良い 33.3%(12票) ・普通 8.3%(3票) ・悪い 5.6%(2票)</p>	A	<p>・全体の約86%の利用者が良い以上の評価をしており概ね満足していたと思われる。 ・入所時に部屋の利用方法の説明を徹底し、トラブルなく快適に利用できるよう丁寧な指導を心がけた。 ・清掃用具入れを含め共用部について随時チェックし、整理整頓に努めた。 ・施設利用者による清掃箇所で追いつかない部分やそれ以外で不十分な箇所については、職員による清掃を行い、環境整備を徹底し、施設の衛生美化維持を保つように心がけた。 ・利用者の声を受け、補充し迅速に対応した。今後も利用者が施設を快適に利用できるよう努めたい。</p>	<p>・概ね良い評価である。 ・今後も、利用者の意見を踏まえ、点検や清掃を徹底し、環境整備に努めること。</p>
	<p>(良い意見) ・各部屋とも、きれいで良かった。 ・体育館は使い易かったです。 ・団体生活として使いやすかった。 ・テント、寝袋、炊飯棟他きれいに整理整頓、手入れされていた。 ・網戸が外れている部屋があったが、快適に過ごせた。</p> <p>(悪い意見) ・網戸のぐらつき、靴箱のヤスデが少し気になりました。 ・寝具の畳み方、収納の仕方が面倒で、何度説明しても理解されない。 ・2F2人部屋、エアコンの音が大きいベッドもだいぶ傷んでいる。 ・エアコンが決まった時間しか使用できず、この時代には合っていないと感じました。 ・風呂場の排水が悪く男女とも、水がたまり、そのためにすべってしまった子が、いたので大事に至らないうちに排水溝の清掃をお願いします。 ・部屋のエアコンからホコリがまっていた。男子部屋(215)、点検・清掃をしてほしい。 ・スリッパに靴箱と同じナンバーを付けて頂ければよいかと思いました。 ・テント泊、宿泊施設と利用し、テントの中に敷く、マットレスが汗臭いが強く、臭いがないとうれしいです。 ・掃除機の吸い込みが弱いです。なかなか吸い込めませんでした。 ・野外炊飯を計画しましたが水道管の故障でできなかった事が残念でした。来年度もお世話になりたいと思ってます。復旧する事を願ってます。 ・ベランダの仕切りが壊れており、ベランダから自由に行き来できることがきになった。</p>	<p>(良い意見) ・古いけどきれいに使用されている。 ・団体生活として色々融通してくれて利用しやすかった。 ・キャンプ場で野営をするにも設備が整って、安心しました。</p> <p>(悪い意見) ・掃除用具入れを開けてみると、道具がバラバラだったのが気になりました。 ・部屋、廊下が汚れていたのが、少し気になりました。 ・大部屋、各部屋へ見合った個数の扇風機が欲しいです。</p>				

評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和元年度評価	令和2年度目標	令和2年度評価			
維持管理業務 浴室・トイレの 施設・設備に ついて	<p>〈満足度〉83% (※1) とても良い 33%(26票) 良い 50%(40票) 普通 6%(5票) 悪い 11%(9票)</p> <p>(良い意見) ・大浴場が開放的でよかったです。 ・清潔感があり良い。 ・やや古いと感じましたが、全く問題はなかったです。 ・ご配慮ありがとうございました。 ・大浴場で皆で入浴したことが子ども達が一番印象に残った様です。今後も浴槽を維持してほしいです。 ・清掃が行き届いており、気持ちよく利用することができました。 ・トレットペーパーの補充も十分にされており、すごく良かったです。</p> <p>(悪い意見) ・浴室の水はけの悪さが気になります。清掃しにくいのでは… ・トイレの止水栓(レバー)がかたく低学年には流しにくい。浴室の水栓が温水別々になっているので、高温水を先に出した場合、ヤケドの危険性がある。 ・清掃用具がもう少し充実していると良いなと思いました。トイレ用洗剤など消臭予防にもつながると思います。 ・大浴場のバリアフリー化がすすめば更に利用しやすい。 ・大浴場の利用時間(大人)を12時頃までにしてほしい。(子供達が寝付くまでには時間がかかる為) ・浴室は良かったが、トイレは直さなければ(ドアが閉まらない) ・キャンプ場に隣接したシャワー室が必要、トイレは良いです。 ・階ごとのトイレが不足では？！浴室水たまりがあり、水道出ないのがある。</p>	<p>〈満足度〉90%(※1)</p>	<p>〈満足度〉88.9%(※1) ・とても良い 41.7%(15票) ・良い 47.2%(17票) ・普通 11.1%(4票) ・悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・トイレ、浴室きれいで、浴室の掃除のデッキブラシを子供達が楽しそうにやっていた。 ・大浴場が気持ち良かったです。</p> <p>(悪い意見) ・利用前に、他校が利用していたからかと思いますが、水がなかなか流れず、困りました。(髪の毛が詰まっていました) ※「良い」又は「普通」と回答した利用者の自由意見</p>	A	<p>・全体の89%の利用者が良い以上の評価をしており概ね満足していただいていると思われる。 ・大浴場の排水詰まりについては回収ネットの取替の指導を徹底している。その他、応急で処置を施すも根本的な解決に至っておらず、20名以上が利用すると水がはげきらない状態である。衛生的にも悪く、水溜まりや苔等により滑って転倒する危険があるなど安全確保の観点からも早急に改善が必要である(引き続き県と修繕等について相談してきたい)。</p>	<p>・概ね良い評価であるが、「良い」又は「普通」と回答した利用者の自由意見において悪い意見もある。 ・今後も、利用者の意見を踏まえ、点検や清掃を徹底し、環境整備に努めること。 ・また、所管課と連携し、計画的な修繕に努めること。</p>
	維持管理業務 食堂の施設・ 設備について	<p>〈満足度〉95% (※1) とても良い 50%(36票) 良い 45%(33票) 普通 3%(2票) 悪い 1%(1票)</p> <p>(良い意見) ・広くてきれいでした。 ・整っていて良かったと思います。 ・少し暗く感じが気になりましたが(照明)、衛生面も良く、気持ちよく利用できた。 ・配ぜんしやすかった。 ・おいしく頂きました。冷蔵庫もかしていただき感謝します。 ・手指消毒用アルコールも用意されていたので良かった。</p> <p>(悪い意見) ・食事の料金はよい。もう少し量があればなおよい。 ・クーラーの真下のテーブルだったので暑かったです。 ・空調の利きが少し悪く、食事中暑かった。 ・手洗場欲しいです。</p>	<p>〈満足度〉90%(※1)</p>	<p>〈満足度〉97.1%(※1) ・とても良い 64.7%(22票) ・良い 32.4%(11票) ・普通 2.9%(1票) ・悪い 0%(0票)</p> <p>(良い意見) ・おばちゃん達も笑顔で接してくれて良かったです。 ・コロナ対策されていて、安心してきて良かったです。 ・水筒へ水を入れたり、氷をいただいたりした。とてもありがたかった。</p> <p>(悪い意見) ・なし</p>	S	<p>・全体の97%の利用者が良い以上の評価をしており概ね満足していただいていると思われる。 ・利用者の活動内容や時間に合わせ食時間等を調整するなどし利用者サービスの向上を図った。 ・安全衛生徹底のため、入室前の手洗い(手洗いの場含む)・手指消毒徹底のアナウンスを継続して行っていく。 ・食堂内および入口周辺の清掃・清潔管理を継続して行っていく。</p>

評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者 自己評価	現状分析・課題
	令和元年度評価	令和2年度目標	令和2年度評価			
運営業務 食堂の提供するメニューについて	<p>〈満足度〉95% (※1) とても良い 72%(51票) 良い 23%(16票) 普通 6%(4票) 悪い 0%(0票) ※利用なし7票 無回答2票</p> <p>(良い意見) ・おかわりをする子供もいたぐらいとてもおいしかったです。 ・おいしくて、ボリュームも良い。 ・値段を考えると、良い献立だと思う。他の同等の施設と比べても満足である。 ・アレルギー対応までしていただきましてありがとうございました。 ・栄養も考えて下さり、とても美味しく頂くことができました。 ・沖縄県外からの利用でしたので沖縄料理を味わうことができた。 ・ベジタリアンの先生やアレルギーのある先生への食事に対応して下さって感謝です。 ・食堂での食事はしていないが野外炊飯の食材の準備が丁寧で良かった。 ・普段はゴーヤーが苦手であり食べない子もよく食べていました。全体的におかわりしてよく食べていた。</p> <p>(悪い意見) ・メニューがあって事前に選べたら良かったと思う。 ・量的に良かったです(スパゲッティ)。少し塩辛い(味付が濃い)メニューがありました。</p>	<p>〈満足度〉90%(※1)</p>	<p>〈満足度〉97%(※1) ・とても良い 69.7%(23票) ・良い 27.3%(9票) ・普通 0%(0票) ・悪い 3%(1票)</p>	S	<p>・全体の97%の利用者が良い以上の評価をしており概ね満足していただいていると思われる。 ・アレルギー調査を基に献立して頂き内容にも満足頂いていた。また、質、量、栄養バランス等が良くメニューも好評を得ている。 ・食事については、健康な身体づくりの観点から内容のバランスや必要な量、カロリーや食事を構成する栄養素などを十分に考えて作られている事等を、施設利用打合せ等で丁寧に説明を行う。標準的な量に不安がある利用者にはおやつとして果物等を持参されることを引き続き提案していきたい。</p>	<p>・利用者の満足度は高い。 ・利用者の意見から食堂の委託業者と連携がしっかりとれていることが分かる。 ・今後も、食堂との連携を密にして利用者の満足度の高い対応に努めること。</p>
	<p>〈満足度〉96% (※1) とても良い 62%(33票) 良い 34%(18票) 普通 4%(2票) 悪い 0%(0票) ※利用なし26票 無回答1票</p> <p>(良い意見) ・ハイキングは子どもたちに好評でした。 ・星空観察が子供たちに好評だった。 ・プログラムも充実しており、次回も利用したいです。ハイキング・野外炊飯も引率して頂き分かりやすい指導でした。 ・野外炊飯において流れがキッチンと整理されていて子ども達も分業できた。 ・野外炊飯の時は丁寧に指導してくださり、ありがとうございます。お蔭様でケガなく、事故なく終えることができました。 ・野外炊飯では、班で協力してカレーをつくる、ごはんを炊くという貴重な体験ができて、すごく良かったです。</p> <p>(悪い意見) ・名護岳のハイキングは、いい経験になったと思います。できれば、植物等や穴場等があったら、その説明が所々にあったらもっと名護岳を知ることができて楽しめたかな?と思います。 ・ナイトハイキングはもう少し植物の話とか、夜景を見たり、手元のライトを消して実際の暗さを体感させたりして欲しい。 ・女の子はスパンコールを喜んでいましたが、せつかくなので木の実など自然の物だけでも良いと思った。(フォトフレーム作り)</p>	<p>〈満足度〉90%(※1)</p>	<p>〈満足度〉95.7%(※1) ・とても良い 82.6%(19票) ・良い 13%(3票) ・普通 0%(0票) ・悪い 4.3%(1票)</p>	S	<p>・全体の約96%の利用者が良い以上の評価をしており概ね満足していただいていると思われる。 ・団体の活動目的を確認のうえ、プログラムを共に考えている。新規プログラムを開発し、幅広いニーズに応えられるようにしたい。 ・利用団体の活動目的および特徴を理解し、引き続きわかりやすい指導を心がける。</p> <p>(悪い意見) ・自分達の確認不足もあったが、時間配分や下見をもう少し練る必要があったと思いました。</p>	

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和元年度評価	令和2年度目標	令和2年度評価			
運営業務 電話や窓口での対応、プログラムの指導について	(満足度)96% (※1) とても良い 64%(47票) 良い 32%(24票) 普通 4%(3票) 悪い 0%(0票) ※利用なし4票 無回答2票	(満足度)90%(※1)	(満足度)100%(※1) ・とても良い78.1%(25票) ・良い 21.9%(7票) ・普通 0%(0票) ・悪い 0%(0票)	S	・全体的に高評価をいただいた。 ・ハイキングや登山等のコースにおいて危険箇所がある場合は、職員間で情報を共有し、利用者に対しても細かく情報を提供、説明し、安全に利用していただいた。 ・利用者からのお問い合わせに対し、不確定要素が多い場合は期待させるような案内等は極力避けるよう職員教育を行い、利用者混乱が生じないよう徹底した。 ・利用者の情報通信機器環境に合わせ、FAXに限らずメールも活用し対応した。	・利用者の満足度は高い。 ・今後も利用者の立場に立った対応を心がけること。
	(良い意見) ・昨年よりも対応が丁寧に感じました。 ・全ての職員の方々が丁寧に対応して下さいました。 ・電話対応や事前説明も丁寧に対応して頂き、当日も安心して取り組むことができました。 ・プログラム内容についても丁寧に説明と資料を送っていただきました。 ・荒天時になった時のプログラムについてきめ細かく、早め対応でこちらもいろいろ準備することができました。 ・1つ1つの質問にしっかりと答えて頂きありがとうございました。 ・事前確認の為に電話もあり、(プログラム、(合同の方)のキャンセル報告等)窓口対応も笑顔で良かったです。	(良い意見) ・急なプログラムの時間変更にも、対応していただき助かりました。 ・たくさん指導を頂き助かりました。 ・色々質問してしまいましたが、とても細かく答えて下さり、助かりました。	(悪い意見) ・なし			
運営業務 施設の利用料金について	(満足度)95% (※1) とても良い 73%(58票) 良い 22%(17票) 普通 5%(4票) 悪い 0%(0票) ※利用なし1票	(満足度)90%(※1)	(満足度)94.4%(※1) ・とても良い72.2%(26票) ・良い 22.2%(8票) ・普通 5.6%(2票) ・悪い 0%(0票)	S	・全体の約95%の利用者が良い以上の評価をされており概ね満足していただいていると思われる。 ・利用団体の免除の有無に係わらず、均一なサービスを提供するよう心がけたい。 ・また、今後も安価によるサービス低下ならびに施設の不備、不便とならないよう徹底したい。	・利用者の満足度は高い。 ・今後も利用したくなるような料金設定とともに、サービスの低下とならないよう心がけること。
	(良い意見) ・良い、このまま維持してもらいたい。 ・一般向利用料金としては安く大変助かります。 ・子供たちの利用にとって負担がすくなくて助かる。 ・免除ありの利用でした。 ・子ども達の分の免除が良かったです。	(良い意見) ・免除があり助かる。 ・利用料金が良心的でありが良かった。	(悪い意見) ・なし			
運営業務 食事料金について	(満足度)96% (※1) とても良い 62%(47票) 良い 34%(26票) 普通 4%(3票) 悪い 0%(0票) ※利用なし2票 無回答1票	(満足度)90%(※1)	(満足度)88.6%(※1) ・とても良い57.1%(20票) ・良い 31.4%(11票) ・普通 11.4%(4票) ・悪い 0%(0票)	A	・全体の約89%の利用者が良い以上の評価をされており概ね満足していただいていると思われる。 ・アンケートの結果を食堂とも共有し、適時改善を図っていきたい。 ・小学校低学年以下(特に幼児)の利用者より別料金の相談がある。県・他施設・食堂と相談したい。	・概ね良い評価である。 ・利用者が満足し、納得できるメニュー内容と料金になるよう食堂委託業者と連携し、必要に応じて所管課とも調整しながら、適切に対応していくこと。
	(良い意見) ・料金の割に食事は満足できた。 ・低料金でとてもよい。 ・品数、分量からして妥当な料金と思います。	(良い意見) ・満足できた朝食内容でしたので高いな～とは感じなかったです。 ・安い値段でおいしく、お腹いっぱい食べることができました。	(悪い意見) ・なし			

【評価基準 (②満足度)】
 総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度
 S : 90%以上
 A : 80%以上、90%未満
 B : 70%以上、80%未満
 C : 70%未満

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)
 ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

II. サービスの質の評価

2. 主催・自主事業

評価項目	第三者(利用者等)評価		指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	令和元年度評価	令和2年度目標			令和2年度評価
運営業務（主催・自主事業） 事前の広報について	(満足度)97% (※1) とても良い 38%(96票) 良い 59%(152票) 普通 -%(0票) 悪い 3%(8票) ※利用なし8票 無回答5票	(満足度)90%(※1)	(満足度)95.7% (※1) ・とても良い 51.3%(59票) ・良い 44.3%(51票) ・普通 0%(0票) ・悪い 4.3%(5票)	S	・全体的に約98%とほとんどの方が満足して頂いている。時間の掲載等細かな情報も掲載するようにし、名護市情報誌の市民の広場を積極的に活用していきたい。 ・引き続き名護青少年の家近隣の公共施設等を活用しチラシ配布や告知ポスター等を掲示していただけるよう協力依頼を行っていく。 ・新聞等については、各事業毎に掲載の申請を行っているが、新聞各社の情報量に限りがある為、掲載の可否については調整によるところである。
	(良い意見) ・パンフを見て、すぐ連絡。(ノルディック①) ・頻繁にホームページを見て見つけるが、人気があると締め切ることがある。(ホテル観察会) ・ピジターセンターの掲示板をみました！(ノルディック②) ・開催の確認通知、手紙を頂いた。(ノルディック②) (悪い意見) ・広報不足(ノルディック②) ・ホームページに事前に詳細を掲載してもらえると良かったです(オータムキャンプ) ・ツイッターなどで広報されてはいいかでしょうか(オータムキャンプ) ・もっと参加したい日本人はいると思います。友人に教えたがサイトを見つけれないと言っていた。事前のアピールをもっとするといいかないと思いました(日米国際キャンプ) ・一週間前に校文で知った(日米国際キャンプ) ・素晴らしい内容なので、もっと広報してほしい(ナゴランを育てよう)		(良い意見) ・スケジュールが分かりやすく良かったです。(慰霊の日奉仕活動) ・図書館+ホームページちょうど良いと思います。(ホテル観察会Ⅱ) ・過去に参加したので、連絡していただけた。(やんばるの生態を学ぼう) (悪い意見) ・もっと広報してもいいと思う。(火星準大接近) ・新聞にも載せていたら、なお良かった。 ・広報に気づきませんでした。(やんばるの生態を学ぼう) ・広報の方法を工夫して下さい。(ノルディック)		
運営業務（主催・自主事業） 電話や窓口の対応について	(満足度)99% (※1) とても良い 52%(130票) 良い 47%(115票) 普通 -%(0票) 悪い 1%(1票) ※利用なし21票 無回答5票	(満足度)90%(※1)	(満足度)99.3% (※1) ・とても良い 56.9%(87票) ・良い 42.5%(65票) ・普通 0%(0票) ・悪い 0.7%(1票)	S	・全体的にほとんどの方が満足して頂いた。名護青少年の家の事業に参加されたことが無い方は内容を含め雰囲気等も分からないことが多く不安もあると思われることから特に親切丁寧な対応を心がけた。 ・17:30以降はHPの問い合わせを利用する方も見られる。その他の活用方法については模索し検討したい。
	(良い意見) ・キャンセルで受講できました。対応して下さり感謝です。(ピザ作り体験) ・親切に教えて下さり良かったです(オータムキャンプ) ・丁寧な電話対応で話やすかった(防災キャンプ・日米国際キャンプ) ・笑顔で丁寧に話してくれました(名護青少年の家まつり) ・担当の油井さんはじめ、皆様とても親切(冬の星空観察会) ・スムーズに対応してもらえた(日米国際キャンプ) ・丁寧で分かりやすかった(親のまなびあい) (悪い意見) ・入口に大きく案内して欲しい。(アクティビティ王)(ピザ作り体験) ・受付時、名前の漢字、読み、住所の漢字、マンション名が間違っていた。(スプリングキャンプ) ・入口に大きく案内してほしい(やんばる自然教室) ・ネットの申込が出来ようお願いします(やんばる自然教室)		(良い意見) ・反応が早く、対応も良。(ホテル観察会Ⅰ) ・親切な対応で好感が持てた。(ホテル観察会Ⅰ・Ⅱ)(慰霊の日奉仕活動) ・事業、パンフ、カリキュラムの送付は良いと思う。(ナゴランを育てよう) (悪い意見) ・場所の説明が分かりづらい。(ナゴランを育てよう)		

<p>運営業務（主催・自主事業）</p>	<p>事業の内容について</p>	<p>〈満足度〉99%（※1） とても良い 69%（184票） 良い 30%（82票） 普通 -%（-票） 悪い 1%（1票） ※無回答5票</p> <p>（良い意見） ・飽きのこないプログラム楽しめました。（スプリングキャンプ） ・思った以上に内容が濃くよかったです。（カヌーキャンプ） ・前からある炊飯場であるものを使って、工夫がとても感じられました。すごいです。（ピザ作り体験） ・染物は、新鮮でした（オータムキャンプ） ・交流できてとても良かった・素晴らしかったです！勉強になりました！（日米国際交流キャンプ） ・イルカのツアーは新鮮で大変良い機会になった（クリスマスキャンプ） ・たくさんの活動ができてよかったです（名護青少年の家まつり） ・生徒、先生のプレゼンがとても良かった（ナゴランを育てよう） ・ロケット作り体験、大人も話を聞けて良かったです（冬の星空観察会）</p> <p>（悪い意見） ・英語を全く話せない人にも考慮した内容をお願いします（日米国際キャンプ） ・話し方が早い。（健康・体力づくりとダイエット②）</p>	<p>〈満足度〉90%（※1）</p>	<p>〈満足度〉100%（※1） ・とても良い67.0%（122票） ・良い 33.0%（60票） ・普通 0%（0票） ・悪い 0%（0票）</p> <p>S</p>	<p>・全体的に約97%とほとんどの方が満足して頂いている。前年度のアンケートから参加者からの要望を洗い出し、できる範囲内で内容を取り入れるように努めた。但し、コロナ禍で開催した事業については規模縮小を行った。今後も安全・安心を第一に名護青少年の家ならではの体験を提供していきたい。</p>	<p>・利用者の満足度は高いが、「良い」と回答した利用者の自由意見において悪い意見もある。 ・利用者の意見を参考に事業の運営の改善を行うこと。 ・また、安全面に配慮し、名護青少年の家独自の事業に取り組むこと。</p>
<p>運営業務（主催・自主事業）</p>	<p>講師の進め方について</p>	<p>満足度99%（※1） とても良い 62%（155票） 良い 37%（95票） 普通 -%（-票） 悪い 1%（2票） ※利用なし17票 無回答2票</p> <p>（良い意見） ・体験談もまざった進行で聞きやすく分かりやすかった。（健康・体力づくりとダイエット②） ・雨の中、手順の説明を一通りやっていたいただき、その間はスタッフが対応してくださり、よかったです。（ピザ作り体験） ・スタッフの方が皆さん親切で助けられました（オータムキャンプ） ・子ども達が分かりやすいように伝えてくれました（名護青少年の家まつり） ・今まで平面でしか星をみてなかったけど、遠近の見方を教えて頂きおもしろかった（冬の星空観察会） ・親近感が持てました（冬の星空観察会） ・トークの進め方がうまい（冬の星空観察会） ・難しい問題も多かったが、新しい知識が増えた（日米国際キャンプ） ・不安なく参加出来ました（親の学び合い） ・教材が届かないトラブルの中、臨機応変に対応下さった（冬の星空観察会）</p> <p>（悪い意見） ・段取りがあまり良くなかった。 ・列の最後尾にいると聞こえないが楽しかったです（やんばる自然教室） ・星は良かったです。昆虫は学術的な話が小5,6年にはどうか？（日米国際キャンプ）</p>	<p>〈満足度〉90%（※1）</p>	<p>〈満足度〉97.0%（※1） ・とても良い62.3%（104票） ・良い 34.7%（58票） ・普通 0%（0票） ・悪い 3.0%（5票）</p> <p>S</p>	<p>・全体的に約97%とほとんどの方が満足して頂いている。部分日食等、天体観測をテーマにした事業においては、専門性の高い内容を提供できるよう徹底して行った。雨天時でも移動式簡易プラネタリウムを活用した際は満足度が高いため、今後も講師や関係者と連携を強化し満足度の高い内容を提供できるよう取り組んでいきたい。</p>	<p>・指定管理者の持ち味を活かした事業や講師選定に関しては利用者の満足度が高い。 ・利用者の意見について講師と共有し、今後も目的達成に適した講師選定に努めること。</p>

運営業務（主催・自主事業）	参加費について	〈満足度〉99%（※1） とても良い 60%（148票） 良い 39%（98票） 普通 -%（-票） 悪い 1%（1票） ※利用なし3票 無回答4票	〈満足度〉90%（※1）	〈満足度〉97.6%（※1） ・とても良い58.2%（99票） ・良い 39.4%（67票） ・普通 0%（0票） ・悪い 2.4%（4票）	S	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に約99%とほとんどの方が満足して頂いている。キャンプ等では参加費が高いと家族全員での参加が難しくなるため、わずかに収入が上回る程度に料金を設定した。 ・コロナ禍で開催した事業については、部分的な参加を可能としその分の費用を免除（キャンセル料なし）するなど費用負担のみのイメージとならないよう丁寧な説明と対応を心掛け準備した。 ・事業プログラムの内容をブラッシュアップし満足度を高め、参加費で苦情が出ないように心掛けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の立場に立った参加費設定に努めていると考えられる。 ・今後も利用者が納得、満足できる参加費設定に努めること。
		(良い意見) ・良心的な金額でした。(健康・体力づくりとダイエット②)(防災キャンプ)(冬の星空観察会) ・無料でこのような貴重な時間を作っていただけで感謝です(日米国際キャンプ) ・とても安いと思いました(親のまなび合い) ・無料でとてもありがたいです。(材料費等ありがとうございます)(名護青少年の家まつり) ・料金以上の価値があった。(ピザ作り体験) ・カヌーが含まれている割には安かったと思う。(カヌーキャンプ) (悪い意見) ・あと少し安くてもいいかなとおもいました。(ホテル観察会)	(良い意見) ・適額です。(ホテル観察会 I、II)(ナゴランを育てよう) ・こんなに安くてもいいのでしょうか。(ホテル観察会 II) ・どちらかというと安すぎるほど。(ノルディック) ・食事(おいしかったです)と入浴込みで、とてもありがたい。(ノルディック) ・安くてびっくり。(秋の星空観察会) (悪い意見) ・もう少し安くても。(ホテル観察会 II)				
1. 受入事業 2. 主催・自主事業 総合評価 (各評価項目の平均)	総合評価 〈満足度〉96%（※1）	〈満足度〉90%（※1）	〈満足度〉94.9%	評価 ②満足度 S	全体として94.9%の満足度を得ることができた。今後も利用者に満足していただけるサービスの提供及び主催・自主事業における学びの機会や体験活動等の提供に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に適切な対応が出来ていると考えられる。 ・今後も各種目標の達成に向けて、職員同士で研鑽を積み、気づいたことを教え合いながらサービスの維持・向上に努めること。 	

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)
 ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 ②満足度】
 総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度
 S : 90%以上
 A : 80%以上、90%未満
 B : 70%以上、80%未満
 C : 70%未満

1. 受入事業 2. 主催・自主事業 II. サービスの質の評価 取組改善案	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も施設・設備・用具の点検、清掃等を徹底し、環境整備に努めること。 ・主催・自主事業の事前の広報の方法について工夫が必要。 ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心に利用していただけるよう努めること。
---	---

Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

単位:千円

収入項目		令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
計		3,797	4,102	849	22%	21%	
利用料金 収入	宿泊室	2,999	3,200	337	11%	11%	
	キャンプ場	28	45	8	29%	18%	
	研修室及び訓練室	165	157	63	38%	40%	
	プレイホール(体育館)	605	700	441	73%	63%	
指定管理料		40,350	40,720	40,720	101%	100%	
計		2,654	2,614	1,255	47%	48%	
自主事業 収入	主催事業収入	370	400	17	5%	4%	
	自主事業収入	595	345	637	107%	185%	
	事業収入その他(薪代・シーツ代等)	1,689	1,869	601	36%	32%	
その他収入(自販機電気料等)		54	58	68	126%	117%	
雑収益		0	0	618	-	-	
合計(A)		46,855	47,494	43,510	93%	92%	
(現状分析・課題)							
R2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為にキャンセルや利用者の受入れ停止等の影響により、利用料金収入が対前年比22%、自主事業収入が対前年比47%であった。また、雇用調整助成金の給付により雑収益を計上した。先述のとおり新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に利用者の受入れ停止等により夏休み及び春休み等の利用者が激減したことから、収入全体では対前年比93%(7%減)となった。							

(2) 支出

単位:千円

支出項目		令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費		25,548	26,457	26,168	102%	99%	
賃金		0	0	0	-	-	
報償費		100	60	108	108%	180%	
旅費		108	147	21	19%	14%	
計		12,130	10,214	7,544	62%	74%	
需用費	消耗品費	2,378	905	1,080	45%	119%	
	燃料費	354	238	162	46%	68%	
	印刷製本費	0	40	0	-	-	
	光熱水費	8,317	7,891	4,328	52%	55%	
	修繕料	1,081	1,140	1,974	183%	173%	
	その他	0	0	0	-	-	
計		1,199	806	1,030	86%	128%	
役務費	通信運搬費	478	447	322	67%	72%	
	手数料	0	0	0	-	-	
	損害賠償保険料	177	129	152	86%	118%	
	火災保険料	0	160	309	-	-	
	自動車保険料	17	24	0	0%	0%	
	その他	527	46	247	47%	537%	
委託料		6,545	7,054	7,171	110%	102%	
使用料及び賃借料		463	450	447	97%	99%	
備品購入費		58	0	0	0%	-	
負担金		78	287	84	108%	29%	
減価償却費		0	0	48	-	-	
間接経費		0	0	0	-	-	
計		2,129	2,019	2,400	113%	119%	
公課費	消費税相当額分	2,129	2,019	2,400	113%	119%	
	その他公課費	0	0	0	-	-	
その他		0	0	0	-	-	
合計(B)		48,358	47,494	45,021	93%	95%	
(現状分析・課題)							
R2年度は、施設整備等の強化(利用者の安全確保並びにサービス向上のため)により、後回しにしていた小規模修繕を実施し修繕費が対前年比183%(83%増)となった。一方、光熱水費においては新型コロナウイルス感染症拡大防止の為に利用者の受入れ停止及びキャンセル等により利用者が激減したことから、対前年比52%(48%減)、消耗品費においては利用者の受入れ停止等に伴う予算執行の見直しと、宿泊団体のキャンセル等によるシーツクリーニングの減により対前年比45%(55%減)となった。役務費については、主催・自主事業において感染症の拡大予防の観点から参加者数等の規模縮小に伴う配布資料及び要項発送等の減により通信運搬費が対前年度比67%(33%減)となった。支出全体で、対前年度比93.8%(6.2%減)となった。							

2. 経営分析指標

評価指標	令和元年度実績	事業計画	令和2年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B)) (単位:千円)	-1,503	0	-1,511	101%	-	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	-3%	0%	-3%	108%	-	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	8%	9%	2%	24%	23%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	53%	56%	58%	110%	104%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	14%	15%	16%	118%	107%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数) (単位:円)	1,560	1,373	3,092	198%	225%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数) (単位:円)	1,302	1,177	2,797	215%	238%	
(現状分析・課題)						
新型コロナウイルス感染拡大防止の為に利用者の受入れ停止等により利用者が激減したことから、利用者あたり管理コストが増大している。また、利用収入及び事業収入の減により、支出が収入を大幅に上回った。						

評価(③財務状況)

B

【評価基準(③財務状況)】

収益率(事業収支/収入合計)

A: 0%以上

B: -5%以上、0%未満

C: -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	コロナ禍において利用料金収入及び事業収入並びに管理コストの改善は容易ではないが、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつながる取り組みの検討が必要である。 また、収益率の改善に向け、支出内容の見直しに努めること。
----------------------------------	--

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための対策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	34,595人	35,151人	35,717人	36,292人	
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	
財務指標	③財務状況	収益率	0%以上	0%以上	0%以上	0%以上	

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和元年度実績	事業計画(目標値)	令和2年度実績	令和2年度実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	令和3年度目標値	
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	利用者数	30,989人	34,595人	14,560人	47%	42%	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、県からの要請を踏まえた利用者受入停止及び事業の中止(4/7～5/20、8/1～9/5)、宿泊定員の変更(240人→120人)、利用キャンセル等により利用者数が減少しており、特に宿泊室及び研修室の利用が大きく減少している。 今後も、感染症対策を踏まえながら、可能な範囲で、施設の利用に取り組んでいただきたい。	C	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつなげる取り組みの検討が必要である。	34,595人
	②満足度	満足度	96%	90%	95%	99%	105%	全体的に適切な対応が出来ていると考えられる。 今後も各種目標の達成に向けて、職員同士で研鑽を積み、気づいたことを教え合いながらサービスの維持・向上に努めること。	S	今後も施設・設備・用具の点検、清掃等を徹底し、環境整備に努めること。 主催・自主事業の事前の広報の方法について工夫が必要。 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全・安心に利用していただけるよう努めること。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	-3%	0%以上	-3%	108%	-	新型コロナウイルス感染拡大防止の為に利用者の受入れ停止等により利用者が激減したことから、利用者あたり管理コストが増大している。また、利用収入及び事業収入の減により、支出が収入を大幅に上回った。	B	コロナ禍において利用料金収入及び事業収入並びに管理コストの改善は容易ではないが、感染症対策を徹底した上で取り組める事業の充実やコロナ後の利用者増加へつなげる取り組みの検討が必要である。 また、収益率の改善に向け、支出内容の見直しに努めること。	0%以上
活動指標	④重点取組事項	自主事業の充実(参加者数)	1,104人	385人	383人	35%	99%	新型コロナウイルス感染拡大防止の為中止した事業が8事業あったが、実施した事業については、ほぼ計画どおりの実績である。また、外部講師の招聘など、青少年の家の持ち味を活かした事業を行っている。	A	今後も、感染症対策を踏まえながら、既存事業の工夫・改善や新規事業の開発に取り組んでいただきたい。	480人

総合評価	B
------	---

【評価基準】

①利用状況
目標値に対する達成率
S：110%以上
A：100%以上、110%未満
B：80%以上、100%未満
C：80%未満

②満足度
総合評価における満足度(各評価項目の平均値)
S：90%以上
A：80%以上、90%未満
B：70%以上、80%未満
C：70%未満

③財務状況
収益率(事業収支/収入合計)
A：0%以上
B：-5%以上、0%未満
C：-5%未満

④重点取組事項
目標に対する評価
S：目標を大きく上回る
A：目標を概ね達成
B：目標を下回る
C：目標を大きく下回る

【総合評価基準】

総合評価基準	
S	40点以上 かつ各評価項目においてC評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

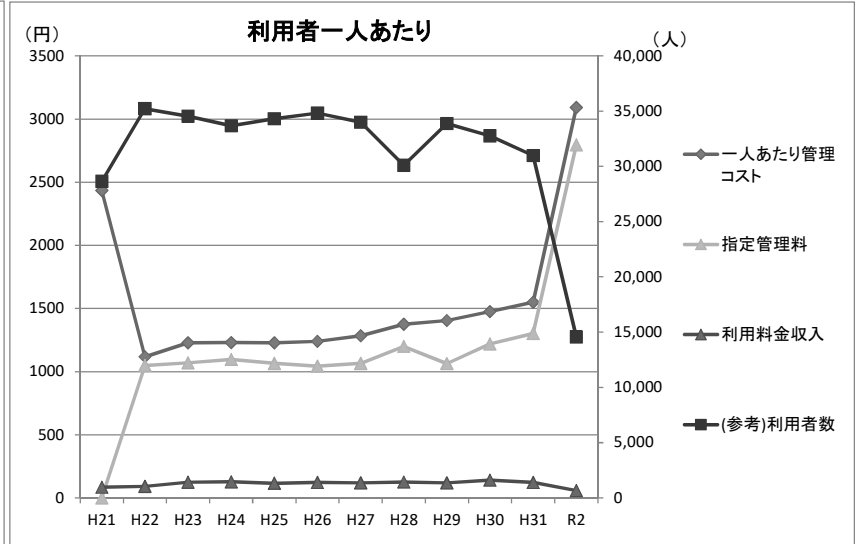
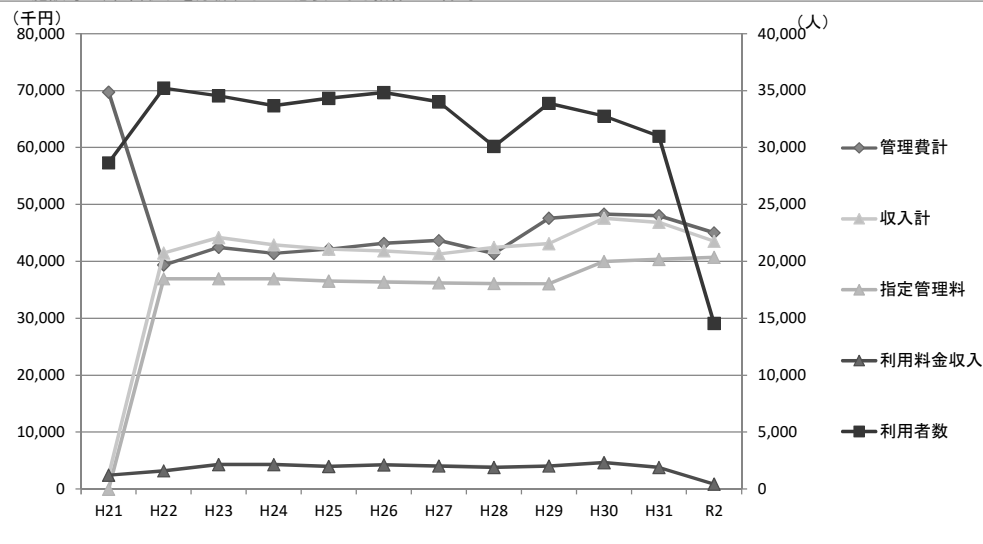
【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称: 沖縄県立名護青少年の家

指標			直営									指定管理										
成果指標	利用者数	目標	単位	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
		実績	人	-	-	-	-	-	-	-	-	28,659	35,216	34,546	33,677	34,316	34,837	34,003	30,099	33,886	32,767	30,989
		目標比	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	97.8%	91.0%	42.1%	-
		H21比	%	-	-	-	-	-	-	-	123%	121%	118%	120%	122%	119%	105%	118%	114%	108%	47%	-
財務指標	指定管理料	千円	-	-	-	-	-	-	-	0	36,942	36,942	36,942	36,529	36,350	36,206	36,103	36,051	39,980	40,350	40,720	-
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%	-	-	-	-	-	-	-	0.0%	93.9%	87.0%	89.2%	86.7%	84.2%	82.9%	87.3%	75.7%	82.7%	84.1%	90.4%	-
	利用料金収入	千円	-	-	-	-	-	-	-	2,433	3,198	4,307	4,310	3,973	4,274	4,052	3,787	4,030	4,632	3,797	849	-
	利用率比率(利用料金/収入計)	%	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	7.7%	9.8%	10.0%	9.4%	10.2%	9.8%	8.9%	9.3%	9.7%	8.1%	2.0%	-
	事業収入	千円	-	-	-	-	-	-	-	0	592	692	664	649	326	1,050	2,497	2,901	2,909	2,654	1,255	-
	その他収入	千円	-	-	-	-	-	-	-	0	741	2,231	975	979	897	0	90	125	51	54	686	-
	収入計	千円	-	-	-	-	-	-	-	2,433	41,473	44,172	42,891	42,130	41,847	41,308	42,477	43,107	47,572	46,855	43,510	-
	管理費計	千円	-	-	-	-	-	-	-	69,751	39,342	42,447	41,413	42,130	43,172	43,666	41,361	47,600	48,325	48,003	45,021	-
	収支	千円	-	-	-	-	-	-	-	-67,318	2,131	1,725	1,478	0	-1,325	-2,358	1,116	-4,493	-753	-1,148	-1,511	-
	収益率(収支/収入計)	%	-	-	-	-	-	-	-	-2766.9%	5.1%	3.9%	3.4%	0.0%	-3.2%	-5.7%	2.6%	-10.4%	-1.6%	-2.5%	-3.5%	-
/単位	一人あたり管理コスト	円	-	-	-	-	-	-	2434	1,117	1,229	1,230	1,228	1,239	1,284	1,374	1,405	1,475	1,549	3,092	-	
	一人あたり指定管理料	円	-	-	-	-	-	-	0	1,049	1,069	1,097	1,064	1,043	1,065	1,199	1,064	1,220	1,302	2,797	-	
	一人あたり利用料金収入	円	-	-	-	-	-	-	85	91	125	128	116	123	119	126	119	141	123	58	-	

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

R2年度	利用者数の減については、新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止による。
H31年度	利用者数の減については、新型コロナウイルス感染症対策のための利用者受入れ停止による。
H30年度	利用者数の減については、学校教育関係利用者(主に中学校)の減による減。
H29年度	利用者数の増については、その他利用者の増による増。 管理費の増については、需用費(主に消耗品、光熱水費)の増による増。

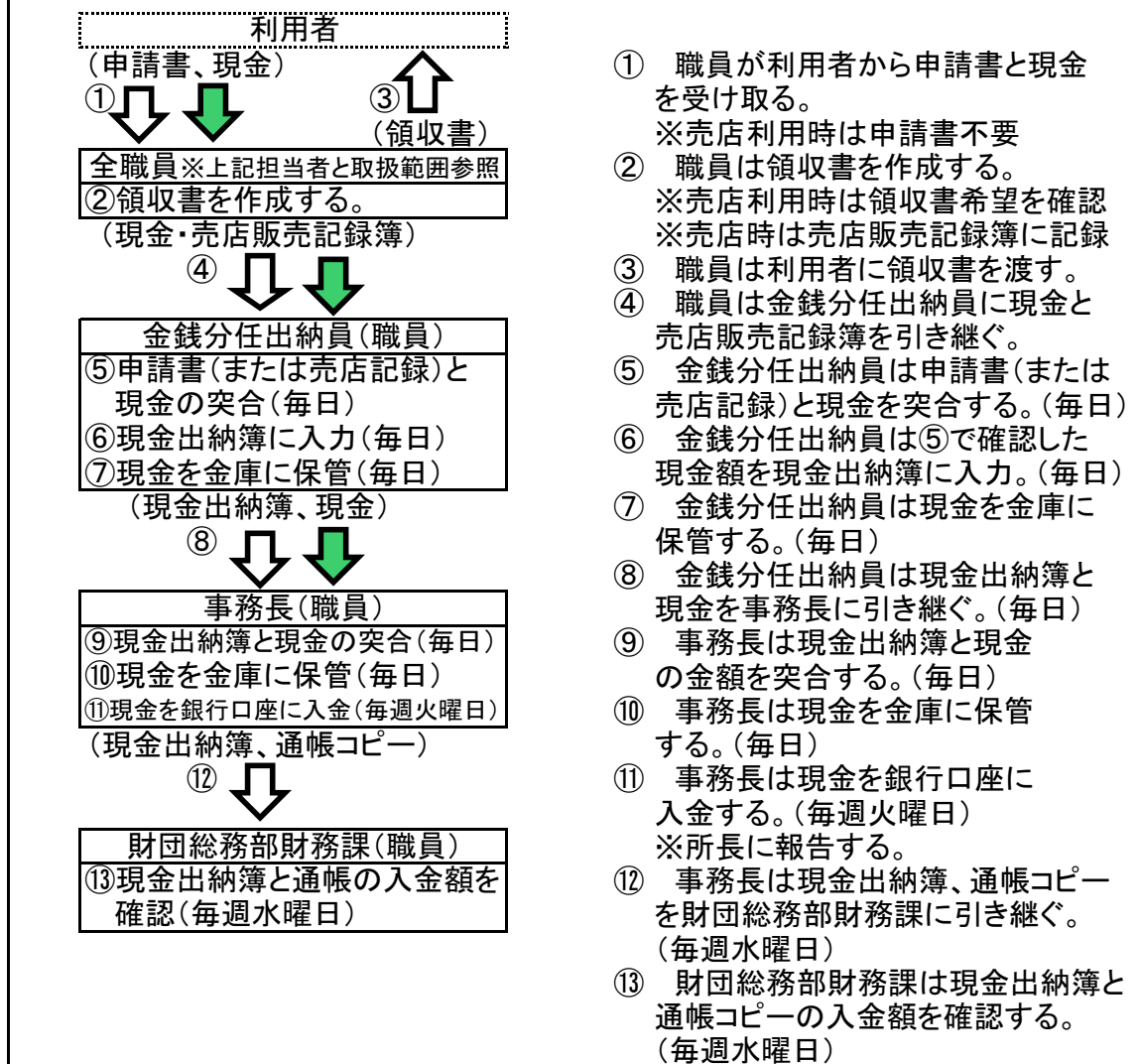
目標設定の考え方 ※目標設定の根拠や考え方などを記載

R3年度	過去10年の名護青少年の家平均利用者延べ数に、同期間における平均増減率を乗じた人数を目標値とする。
R4年度	同上

料金徴収フロー図

利用料金の名称	県立名護青少年の家 施設利用料金	施設の名称	県立名護青少年の家
---------	---------------------	-------	-----------

フロー図	利用料金の種類と金額																							
<p> …… 職員等 …… 職員等以外 …… 書類等の流れ …… 現金の流れ </p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区分</th> <th>利用料金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">宿泊室</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1人1泊につき320円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1人1泊につき630円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">キャンプ場</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1人1泊につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1人1泊につき260円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">研修室及び訓練室</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1室1時間につき150円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1室1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プレイホール (講堂・体育館)</td> <td>児童及び生徒</td> <td>1時間につき370円</td> </tr> <tr> <td>一般及び学生</td> <td>1時間につき730円</td> </tr> </tbody> </table>	区分		利用料金額	宿泊室	児童及び生徒	1人1泊につき320円	一般及び学生	1人1泊につき630円	キャンプ場	児童及び生徒	1人1泊につき150円	一般及び学生	1人1泊につき260円	研修室及び訓練室	児童及び生徒	1室1時間につき150円	一般及び学生	1室1時間につき370円	プレイホール (講堂・体育館)	児童及び生徒	1時間につき370円	一般及び学生	1時間につき730円
区分		利用料金額																						
宿泊室	児童及び生徒	1人1泊につき320円																						
	一般及び学生	1人1泊につき630円																						
キャンプ場	児童及び生徒	1人1泊につき150円																						
	一般及び学生	1人1泊につき260円																						
研修室及び訓練室	児童及び生徒	1室1時間につき150円																						
	一般及び学生	1室1時間につき370円																						
プレイホール (講堂・体育館)	児童及び生徒	1時間につき370円																						
	一般及び学生	1時間につき730円																						
<p>担当者取扱範囲</p> <p> 出納員 =事務長 ⇒施設利用料収入○、その他収入○ 事業料収入○、売店収入○ 金銭分任出納員 =事務補助 ⇒施設利用料収入○、その他収入○ 事業料収入○、売店収入○ 金銭分任出納補助員 =所長、専門職員、用務員 ⇒施設利用料収入×、その他収入× 事業料収入×、売店収入○ </p>	<p>(備考)</p> <p>1 「児童及び生徒」とは、就学前の幼児及び小学校の児童並びに中学校及び高等学校の生徒その他これらに準ずる者をいい、「一般及び学生」とは、「児童及び生徒」に該当しない者をいう。</p> <p>2 研修室及び訓練室並びにプレイホールに係る基準額は、これらの施設を利用する団体(利用者が個人である場合にあっては、当該個人)を単位とする。</p> <p>※利用料金の減免については、「沖縄県立青少年の家の設置及び管理に関する条例」に定めるところによる。</p>																							



労働条件等自主点検表

施設名	沖縄県立名護青少年の家
指定管理者名	一般財団法人沖縄美ら島財団

※ 以下の確認事項に従い、指定管理者による確認結果欄の該当する箇所に○を付け、記入が必要な箇所については記入願います。

確認事項	指定管理者による確認結果																					
<p>1 労働条件の明示 労働契約を締結するに当たり、労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む）、安全衛生等の労働条件を労働者に対し明示していますか。この場合において、労働時間、賃金等に関する事項について書面を交付していますか。</p> <p>労働契約の締結時には、パートタイム労働者を含むすべての労働者に対し労働時間、賃金、退職（解雇の事由を含む）、安全衛生等の労働条件を明示しなければなりません。特に、労働契約期間、有期労働契約を更新する場合の基準、始業・終業の時刻、所定時間外労働の有無等、約定賃金の決定、計算、支払の方法及び賃金の締切り、支払の時期等、退職（解雇の事由を含む。）については、書面を交付しなければなりません〔労働基準法（以下「法」といいます。）第15条〕</p>	<table border="1"> <tr> <td>就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している</td> <td>労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している</td> <td>労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない</td> <td>労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している</td> <td>労働契約締結時には明示していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table> <p>（3～5については、改善が必要です）</p>	就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない	1	2	3	4	5											
就業規則、労働条件通知書を交付して労働条件全般について明示している	労働条件全般について口頭で明示するとともに、労働時間、賃金等に関する事項については書面を交付している	労働条件全般について口頭で明示しているが、書面の交付はしていない	労働時間、賃金等の労働条件の一部についてのみ口頭で明示している	労働契約締結時には明示していない																		
1	2	3	4	5																		
<p>2 就業規則 就業規則（労働時間、休日、休憩、休暇、賃金の定め方及び支払方法、退職（解雇の事由を含む。）等、労働条件の具体的細目を定めた規則）を作成していますか。また就業規則の内容が実際の勤務の状況に合っていますか。</p> <p>常時10人以上の労働者（パートタイム労働者を含む。）を使用する事業場では、就業規則を作成し、所轄労働基準監督署長へ届け出なければなりません（法第89条） また、常時各作業場の見やすい場所への掲示、備付け、書面の交付又は電子機器の設置等により労働者に周知させなければなりません（法第106条）</p>	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">常時使用する労働者は10人未満である。</td> <td colspan="4">常時使用する労働者が10人以上である</td> </tr> <tr> <td>作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている</td> <td>作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない</td> <td>作成してあるが、監督署に届け出ていない</td> <td>作成していない</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table> <p>（3～5については、改善が必要です）</p>	常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である				作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない	1	2	3	4	5							
常時使用する労働者は10人未満である。	常時使用する労働者が10人以上である																					
	作成して監督署に届け出てあり、内容も実情に合っている	作成して監督署に届け出てあるが、内容が実情に合っていない	作成してあるが、監督署に届け出ていない	作成していない																		
1	2	3	4	5																		
<p>3 所定休日 所定休日をどのように定めていますか。</p> <p>休日は少なくとも毎週1日又は4週間を通じ4日を与えなければなりません（法第35条）</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="4">週休2日制</td> <td colspan="2">週休1日制</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>完全（毎週）</td> <td>月3回</td> <td>隔週</td> <td>月1～2回</td> <td>週1日</td> <td>4週4日</td> <td>4週3日以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </table> <p>（7については、改善が必要です）</p>	週休2日制				週休1日制		その他	完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下	1	2	3	4	5	6	7
週休2日制				週休1日制		その他																
完全（毎週）	月3回	隔週	月1～2回	週1日	4週4日	4週3日以下																
1	2	3	4	5	6	7																

4 年次有給休暇
年次有給休暇についてはどのように取り扱っていますか。

年次有給休暇は、6ヶ月間継続勤務し、全労働日の8割以上を出勤した労働者については10労働日、以降1年ごとに付与日数を増加しなければなりません(法第39条)

法定どおりの年次有給休暇を与えている	年次有給休暇を与えているが、付与日数が法定を下回っている	年次有給休暇を与えていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です)

※年次有給休暇の法定の付与日数表(週所定労働日数が5日以上、又は、週所定労働時間が30時間以上の労働者の場合。)

勤続年数	0.5	1.5	2.5	3.5	4.5	5.5	6.5以上
付与日数	10	11	12	14	16	18	20

※なお、月30時間未満の労働者は比例付与することとされています。

5 健康診断
定期健康診断を実施していますか。

常時使用する労働者については、年1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生法第66条)。
なお、深夜業を含む業務等に常時従事する労働者に対しては6月以内ごとに1回定期的に健康診断を行わなければなりません(労働安全衛生規則第45条)

毎年1回以上定期的に行っている	年によって行ったり行わなかったり一定しない	行ったことがない
1	2	3

(2、3については、改善が必要です)

6 最低賃金
地域別最低賃金以上の賃金を支払っていますか。

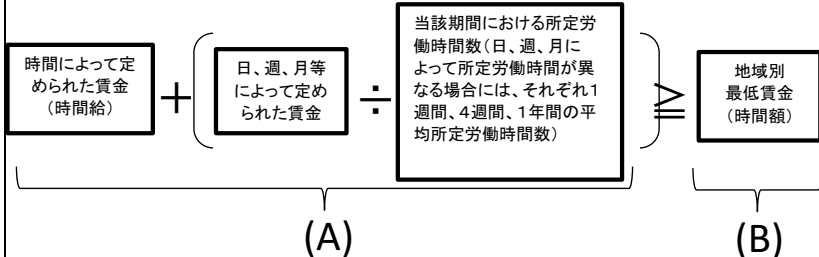
なお、地域別最低賃金には次の賃金は含まれません。

- ① 臨時に支払われる賃金(結婚手当等)
- ② 1月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与等)
- ③ 所定外・休日・深夜の労働に対して支払われる割増賃金
- ④ 精皆勤手当、通勤手当、家族手当

支払っている	支払っていない
1	2

(2については、改善が必要です。)

【支払う賃金(A)と地域別最低賃金(B)の比較方法】



7 割増賃金
時間外労働・休日労働又は深夜労働を行わせた場合に、その時間に対する割増賃金は、どのように支払っていますか。

法定労働時間を超える時間外労働については、2割5分以上、法定休日における休日労働については3割5分以上、深夜労働(午後10時から翌日午前5時の間の労働をいいます。)については2割5分以上の割増賃金を支払わなければなりません(法第37条)。

※割増賃金の基礎となる賃金には、家族手当、通勤手当、別居手当、子女教育手当、住宅手当、臨時に支払われた賃金、一箇月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入しません。

時間外労働・深夜労働について

2割5分以上の割増率にしている	2割5分未満の割増率にしている	時間外労働又は深夜労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

休日労働について

3割5分以上の割増率にしている	3割5分未満の割増率にしている	休日労働をさせているが、支払っていない
1	2	3

(2、3については改善が必要です。)

8 雇用保険の加入について

確認事項	従業員数	うち雇用保険 加入従業員数	うち雇用保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の雇用保険加入状況	8	8	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の雇用保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に雇用保険未加入者がいる場合の未加入理由	加入要件を満たしていないため。

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(令和3年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。

9 健康保険・厚生年金保険の加入について

確認事項	従業員数	うち健康保険 加入従業員数	うち健康保険 未加入従業員数	うち厚生年金保険 加入従業員数	うち厚生年金保険 未加入従業員数
当該指定管理施設で勤務する従業員の健康保険・厚生年金保険加入状況	8	8	0	8	0

確認事項	指定管理者による具体的な取組内容
従業員の健康保険・厚生年金保険加入に関する取組	加入条件を満たしている従業員は全て加入している。

確認事項	未加入とする理由
従業員に健康保険・厚生年金保険未加入者がいる場合の未加入理由	

※調査対象となる従業員は、雇用形態(正社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー等)に関わらず、当該指定管理施設において指定管理者と雇用契約を結ぶ指定管理業務にもつぱら従事する従業員(令和3年3月末における業務全体のうち、当該業務の割合が概ね50%以上の従業員)となります。